実施報告書

アメリカにおける長崎県産ゆめのかPR

実施期間　2019年12月～2020年3月

以下のとおり、アメリカで長崎県産農産物のPRを行いましたので報告いたします。

① 実 施 国: アメリカ(ハワイ)

② 実施店舗: 計2店舗
1) DonQuijote kaheka
2) MARUKAI WHOLESALE MART DILLINGHAM

③ 実施期間:1)2019年12月10～13日、2020年2月1～2日、15～16日 計8日間
2)2019年12月3～8日、2020年2月8～9日、25日～3月1日 計14日間

④ 実施産品(フェア、PR等でのPR産品)の輸出量・額:

品　　名	日本→アメリカへの輸出	現地での売上額
長崎県産いちご (ゆめのか)	(輸出量)1,830パック	2,778,696円 ※$14.99/パックで試算 ※111円/US$で試算
	(輸出額)1,896,300円	

⑤ 実施内容: 現地PRスタッフによる試食宣伝販売

⑥ サンプル使用量: ゆめのか160パック

⑦ デモスタッフ実施回数:
① 1店舗×8日間、②1店舗×14日間 計22日間

⑧ 実施状況
○ 店舗バイヤーの評価
・他県産のいちごも取り扱っているが食味については「ゆめのか」の方が他県産よりも良く、今後も定期的に取り扱っていきたい。
・12月～2月まで購入したが、カビや痛み等が無く毎回完売できている。

○ 販売促進員の評価
・他県産のいちごと比較して酸味も適度で甘みもあるので、食べやすい。
・形が綺麗なものが多いことから、見た目で購買意欲をそそられる人が多いのではないか。

○ 購入者の評価
・日本のいちごはどれも美味しいが、「ゆめのか」については特に甘くて美味しい。
・他県産のいちごは当たり外れがあって購入し辛いが、「ゆめのか」は何回買っても毎回美味しいから安心して購入できる。

○　今後の課題

・パックによっては表面のラベルが小さくて果実が外に出そうなものがあったことから、ラベルの大きさは果実が外に出ない大きさに統一してほしい。

○　販売の様子